

堺市新人大会

予選リーグ男子

A	日置	深中	若松	順位
日置荘		75-30	100-25	1
深井中央	30-75		47-41	2
若松台	25-100	41-47		3

B	宮山	初塚	福泉	順位
宮山台		88-39	48-76	2
初芝塚	39-88		44-110	3
福泉	76-48	110-44		1

C	三国	浜南	美西	順位
三国丘		38-57	110-29	2
浜寺南	57-38		111-16	1
美原西	29-110	16-111		3

D	大浜	庭代	鳳	順位
大浜		38-46	51-80	3
庭代台	46-38		51-56	2
鳳	80-51	56-51		1

E	津久	月州	殿馬	順位
津久野		36-91	4-138	3
月州	91-36		70-36	1
殿馬場	138-4	36-70		2

F	五箇	中百	深井	順位
五箇荘		48-30	17-31	2
中百舌鳥	30-48		29-63	3
深井	31-17	63-29		1

G	陵西	上野	帝泉	順位
陵西		74-38	108-42	1
上野芝	38-74		74-36	2
帝塚山ヶ丘	42-108	36-74		3

H	陵南	登美	八田	順位
陵南		27-51	92-25	2
登美丘	51-27		80-23	1
八田荘	25-92	23-80		3

I	平井	金北	旭	順位
平井		76-48	97-29	1
金岡北	48-76		76-34	2
旭	29-97	34-76		3

J	泉東	美原	美木	順位
泉ヶ丘東		78-52	73-53	1
美原	52-78		50-61	3
美木多	53-73	61-50		2

予選リーグ女子

A	深中	東百	八下	順位
深井中央		82-47	85-28	1
東百舌島	47-82		44-39	2
八下	28-85	39-44		3

B	陵南	浜南	三原	順位
陵南		56-50	73-70	1
浜寺南	50-56		43-41	2
三原台	70-73	41-43		3

C	赤坂	福南	美木	順位
赤坂台		87-29	38-61	2
福泉南	29-87		37-55	3
美木多	61-38	55-37		1

D	八田	五箇	若松	順位
八田荘		59-25	63-48	1
五箇荘	25-59		16-69	3
若松台	48-63	69-16		2

E	月州	泉東	初塚	順位
月州		45-54	140-6	2
泉ヶ丘東	54-45		110-4	1
初芝塚	6-140	4-110		3

F	大浜	美西	鳳	順位
大浜		124-19	35-64	2
美原西	19-124		24-68	3
鳳	64-35	68-24		1

G	帝泉	深井	美原	順位
帝塚山ヶ丘		20-115	32-56	3
深井	115-20		101-9	1
美原	56-32	9-101		2

H	金北	大泉	野田	順位
金岡北		77-25	84-28	1
大泉	25-77		40-31	2
野田	28-84	31-40		3

I	中百	津久	さつ	順位
中百舌島		40-59	83-39	2
津久野	59-40		104-23	1
さつき野	39-83	23-104		3

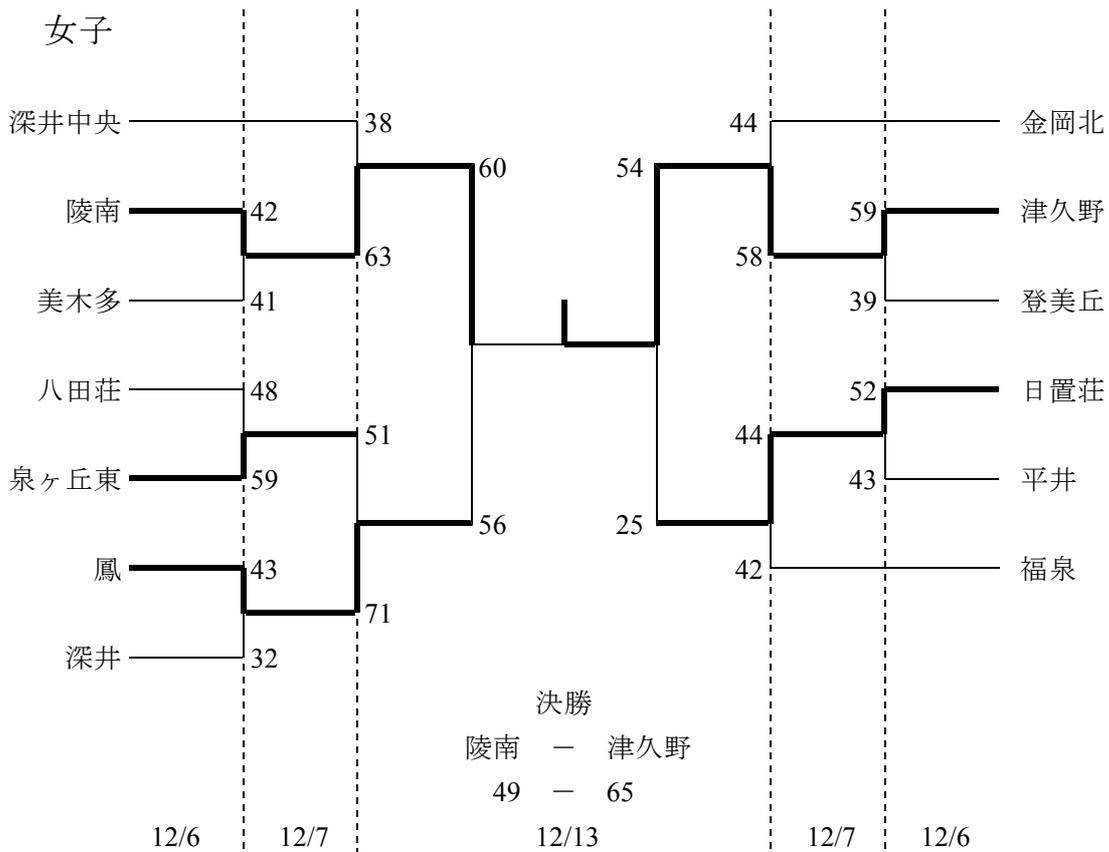
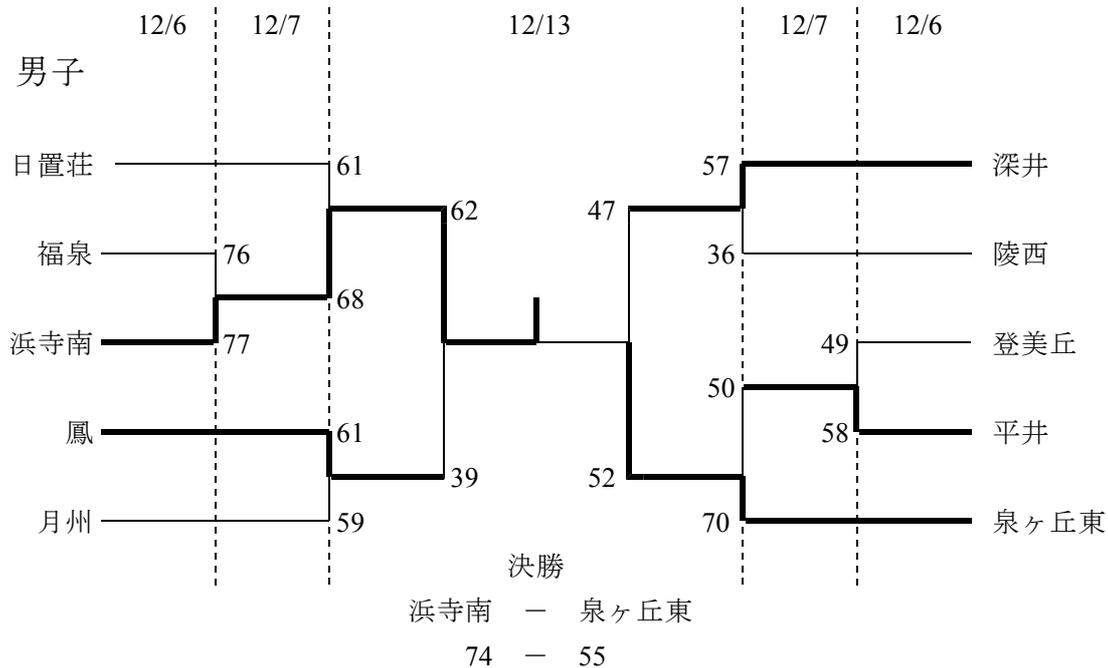
J	浜寺	殿馬	登美	順位
浜寺		34-45	27-70	3
殿馬場	45-34		13-76	2
登美丘	70-27	76-13		1

K	日置	三国	宮山	順位
日置荘		53-25	51-34	1
三国丘	25-53		67-40	2
宮山台	34-51	40-67		3

L	晴美	平井	庭代	順位
晴美台		41-80	33-71	3
平井	80-41		45-32	1
庭代台	71-33	32-45		2

M	上野	福泉	金南	順位
上野芝		32-53	73-29	2
福泉	53-32		80-41	1
金岡南	29-73	41-80		3

決勝トーナメント



男子決勝

第1Qは浜寺南が④を中心とするアウトサイドのシュートでテンポ良く得点を重ねる。一方、泉ヶ丘東は④のローポストなど、インサイドを中心に攻める。しかし、浜寺南のマンツーマンDEFにはばまれ、ペースをつかむことができない。そのような中、泉ヶ丘東④、⑥がオフェンスリバウンドから得点を奪いくらいつく。浜寺南が23-15とリードして第1Qを終える。

第2Qに入ると、泉ヶ丘東が流れを変えようと、1-3-1ゾーンにDEFを変える。しかし、重要なリバウンドを取りきれず、浜寺南がリードを保ち続ける。途中、浜寺南のシュートに陰りが見え始めると、泉ヶ丘東④、⑥がリバウンドを支配し、残り3分で29-23につめよる。ところが、浜寺南⑤などの3Pが決まり、37-27と再びリードを広げ前半が終了する。

第3Qは泉ヶ丘東が再びマンツーマンDEFに戻し、追い上げを試みる。一方、浜寺南はさらにオールコートDEFを厳しくし、泉ヶ丘東のボール運びにプレッシャーを与える。浜寺南のDEFが効果的に機能し、泉ヶ丘東はミスに乗じて得点を積み重ねる。泉ヶ丘東はアウトサイドからのシュートで反撃を試みるが、得点に結びつかず62-34となる。

第4Qに入っても、浜寺南がテンポ良く得点を重ねる中、泉ヶ丘東はメンバー交代などで反撃を続けていくが、74-55で浜寺南が優勝を遂げた。

(藪上・一塚)

女子決勝

どちらのチームもオールコートマンツーマンでスタート。津久野⑥のカットインからの得点で試合が動き出す。その後も津久野はドライブからの攻めで流れをつかむ。陵南はタイムアウトやメンバーチェンジで流れを断ち切ろうとするも、一度ついた勢いを止めきれず22-9となる。

第2Qに入ると津久野は④のパスカットからの得点でリードを広げる。陵南は⑥のゴール下のプレイで対抗するが、津久野の速攻がさえ、得点差を縮めることができずに36-21で前半を終える。

第3Qに入っても津久野の速い攻めに対し、陵南のDEFが遅れ、得点を許す。陵南は⑥のポストプレイを中心に攻めようとするが、津久野はインサイドのディフェンスをしぼり、⑥を自由にプレイさせない。その結果、津久野が有利に試合を進め、54-27で第3Qを終える。

第4Qで陵南は何とか巻き返そうとするが、1対1に頼らざるを得ず、流れはなかなか変わらない。そんな中、陵南⑥が奮闘し、得点差を詰め始める。しかし、時すでに遅し、65-49で津久野が初優勝を果たし、幕を閉じた。

(川人・増尾)